

天空に吹きあがる笑いの噴水



# 泉

ФОНТАН

おんぼろアパートの、  
おかしな住人たちが繰り広げる、  
底抜けに愉快な人間喜劇。

監督▷ユーリー・マミン 脚本▷ウラジミール・ワルドゥナス 撮影▷アナトリー・ラフ  
シヨフ 音楽▷アレクセイ・ザリワーロフ 出演▷アサンクール・クットゥバーエフ、  
セルゲイ・ドンツォフ、ジャンナ・ケリムターエワ 配給▷後シネセゾン 提供▷国際  
シネマ・ライブラリー (1988年/ソビエト(レンフィルム撮影所)/カラー/1時間41分)

ノーヴォエ・キノ  
〈シリーズ第1弾〉

ノーヴォエ・キノ  
НОВОЕ КИНО  
[ソビエト映画の新しい波]

アパートの住人は奇人、変人ばかり!!  
一触即発、抱腹絶倒のパワフル・コメディ登場!!



「泉」は、現代人のモヤモヤとした悩みも苛々もエネルギーに笑い飛ばす、底抜けに陽気で辛辣な風刺のきいた人間喜劇の傑作。音もなく湧き出る澄んだ泉のように心地よいユーモアから、宇宙ロケットのように轟音とともに天空をめざす破壊的で開放的な精神へと高揚していく、生命力溢れる笑いのシンフォニー。オデッサ大衆映画祭'88グランプリ受賞作品。

舞台はレニングラードのおんぼろアパート。そこに、中央アジアの砂漠で泉をまもっていたケルババーエフ爺さんがやってくることから騒動が始まる。爺さんは、大切な泉をトラックの運ちゃんに爆破され、仕方なく娘夫婦のところに転がり込んだのだ。言葉も習慣も宗教も異なるケルババーエフ爺さんの奇人ぶりに対し、アパートの住人たちも負けず劣らずの変人揃い。翼をつけてワイヤーにぶら下がり、アパートの屋根から飛び降りないと靈感の湧かない音楽家、室内で1200本ものチューリップを栽培している男、死んだ夫の魂を呼びつづける老未亡人、等々。そんな住人の注視のなか、爺さんは水道の漏水修理に乗り出すが、なにしろ壁はひび割れ、屋根は落ちかかるといった老朽アパートのこと、爺さんが活動を開始するや、アパート中のお湯は止まり、風呂場ではゴボゴボと汚水が逆流しはじめる。時はおりしもベレストロイカ。この騒動がきっかけで、理想的スローガンと耐乏生活のギャップに怒りのたまっていた住人はついに爆発寸前……!

監督は、「ネプチューンの祭り」(マンハイム映画祭'86金賞受賞)でコメディの才能を世界的に知らしめたユーリー・マミン(1946年生)。日常生活から笑いの要素をつむぎ出すその喜劇的演出は、この新作でより一層の冴えを見せている。また、「泉」の構成は、音楽的に7つの楽章に分けられ、作中に登場する奇人音楽家の作曲活動にそって物語が展開する手法をとっており、かつて音楽を学んでいたというマミン監督の音楽への愛情のこもった作品になっている。

ノーヴォエ・キノ  
《シリーズ第1弾》

▶キネカ錦糸町がアジア初のソビエト映画専門館に生まれ変わります。

▶4月21日(土)よりオープニング・ロードショー!

特別鑑賞券1,300円絶賛発売中《当日一般1,600円・学生1,300円(税込)》

※特別鑑賞券は都内名プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場場でお求め下さい。

キネカ錦糸町

JR錦糸町南口・西武7階 ☎03(631)3121

日・祝のみ11:00 1:00 3:00 5:00 7:00

